

# 事業報告書

令和2年5月30日  
一般財団法人 鎌倉フェローシップ  
代表理事 鎌倉 淳爾

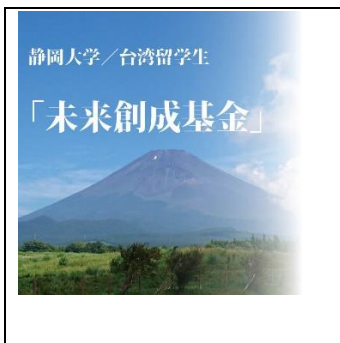
## 1. 広報活動

鎌倉フェローシップは、子どもの貧困解決とジェンダー平等の実現をめざし、給付型奨学金や講演会による人権啓発を行います。令和1年度（以後本年度）は、寄付月間に沖縄でラジオの番組放送や、全国心臓病の子どもを守る会の全国大会、日本ファンドレイジング協会の全国大会等に人員参画して主要な役割を果たし、当財団のビジョンを広めました。



## 2. 静岡大学未来創成基金を通じた国際交流活動

鎌倉フェローシップは、国立大学法人静岡大学に交換留学生として訪れ、日本を真剣に学ぼうとするアジア諸国からの留学生を応援しています。これまで国際交流を促進する13名の交換留学生に対して奨学金の給付を行いました。令和1年度（本年度）も例年通り事業を実施いたしました。

	<p>～アジアから日本を訪れ、日本を学ぶ、交換留学支援～</p> <p>台湾地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立政治大学</li> <li>・開南大学 他</li> </ul> <p>中国／香港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少数民族文化人や青年招聘 他</li> </ul>
---	--


### 3. 琉球大学における奨学活動

鎌倉フェローシップは、20年あまりユニークな方法による給付型奨学金を続けてきました。支給者の7割は女性で、弁護士を10名弱輩出してきました。1年度も選考のためのプレゼンテーションを沖縄にて開催し、弁護士4名による選考委員会が結成され、5名の受給を決定しました。

	
--	---

### 4. 鎌倉文庫サロンの運営、小冊子の制作

鎌倉フェローシップはビジョンの実現のため、これまで数多くの講演活動や出版活動を行ってきました。拠点である静岡市森下町事務所には、「鎌倉文庫」（図書館）と称される大量の本が所蔵され、地域のサロンとしても活用されてきました。図書館運営は本年度から地元企業に移り、鎌倉フェローシップから地代家賃の支出はゼロになりました。

	<p>写真は中国の少数民族の一つ羌族の詩人が著した「雪灼」という詩集を鎌倉フェローシップが日本語訳して出版したものです。鎌倉文庫に所蔵されています。</p> <p>本年度は、「誰もが得する伝え方、聞き方」という小冊子を編纂し、ファンドレイジングジャパン2019において講演会を行いました。</p> <p>拠点である静岡市森下町の事務所を読書サロンとする集会等（不定期）も開催しています。</p>
---	---

以上